



ハトダヨ
2025年
6月号



館

市

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエーヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 URL <https://hakodate-lib.jp/>



中央図書館だより

第109号 令和7年6月1日 発行

図書館からのお知らせ

桜の季節も終わり、新緑が深まる季節となりましたね。

図書館では毎年さまざまなイベントや講座を開催しています。

お子様向けのイベントや、教養を磨きたい大人の方向けの講座。数回連続でご参加
いただき、ちょっと専門的なものもあれば、申込不要で当日気軽にご参加できるもの
もあります。

ご自分の興味やご都合に合わせて、お気軽にご参加ください！



開催します！

夏休み子ども図書館員

日 時: 第1回 7月28日(月) 9:00~12:00

第2回 7月29日(火) 9:00~12:00

対 象: 函館市内の小学校5・6年 各12名

内 容: 本の貸出・返却や棚の整理、ブックコートが
け等の体験

申 込: 中央図書館窓口、または電話にて受付
(TEL:0138-35-5500)

募集開始: 6月23日(月) 9:30より

定員となり次第締切



小学生！夏休み工作会

日 時: 7月26日(土) ①10:00~10:50

②11:10~12:00

対 象: 全ての小学生 各10名(計20名)

内 容: 「まるでシャボン玉 レインボースティッ
クをつくろう！」ストローとキラキラの紙
で割れないシャボン玉を作ります

申 込: 中央図書館窓口、または電話にて受付
(TEL:0138-35-5500)

募集開始: 6月30日(月)9:30より

定員となり次第締切



詳しくは館内のチラシ・ポスターをご覧ください

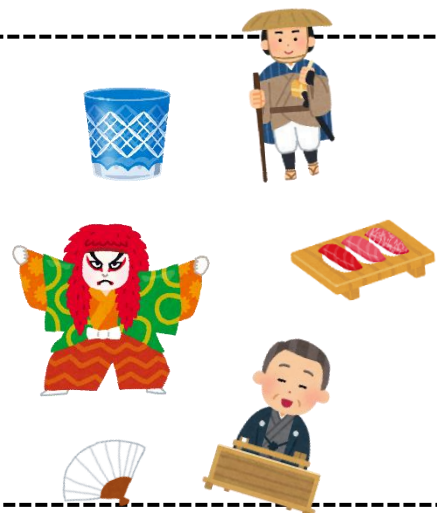
開架展示のご案内

「お江戸で遊ぼう！」

5月31日(土)~6月26日(木)

浮世絵・歌舞伎・川柳・吉原などなど・・・

今、関心が高まっている、江戸時代の庶民文化に関する本を
集めてみました。あなたも本を通してお江戸を楽しんでみま
せんか？



講座のご紹介

★★★中央図書館で今年開催の講座をいくつかご紹介します★★★
(すでに開催中等で今からお申込出来ないものもありますが、来年の参考にして下さい)



「郷土の歴史講座」

函館の史蹟・産業・文化など郷土の自然・歴史について、各分野に精通した講師による講座を開催しています。今年は全7回予定で、ほとんどが申込不要ですのでお気軽にご参加ください。

☆第1回 郷土の歴史講座のご案内☆

『**建立 150 年—碧血碑が語り継ぐもの**』

日時:6月14日(土)14:00~15:30

会場:中央図書館 視聴覚ホール

定員:150 名(申込不要・先着順)



「図書館講座」

図書館主催で行う、主にお子様や学生向けの講座です。今年は3つのテーマの講座を予定しています。近くなりましたらHP・ポスター等でお知らせいたします。

第1回「～図書館にワンちゃんがやってくる!～」

読書介助犬プログラム

・6月7日(土) …申込終了しています

第2回「一緒に図書館のリーフレット作ってみよう」

・8月頃開催予定

第3回「初心者プログラミング講座 こくりとあそぼう」

・来年2月頃開催予定

「初心者のための古文書解読講座」

初めて古文書に触れる方を対象に、古文書とはどういうものか、古文書の読み方、くずし字の基礎を学ぶ連続講座です。今年は連続4回開催で、すでに3回が終了しています。興味のある方は、ぜひ来年参加してみてください。

「初心者のための読み聞かせ講座」

読み聞かせの基礎や、絵本の選び方を学ぶ連続講座です。今年は連続5回開催で、すでに2回が終了していますが、5回目講座に限り1～4回目を受講していない方も受講いただける予定です。近くなりましたらHP・ポスター等でお知らせいたします。(事前申込必要)



スタッフのおすすめ本

「わからない」

著者:岸本 佐知子

出版社:白水社 (2024年 6 月)

場所:A25～30他 請求記号:914.6キシ

名翻訳家、岸本女史による四半世紀のエッセイをまとめた一冊。

虚構と真実をない交ぜに、喜怒哀楽を全弾込めて読み手に乱射するそのテキストは、中原中也もかくやと謂わんばかりの宿酔と高揚を読み手にもたらしつけて、「不思議」を直火焼きで体感したい人にうってつけです。翻訳作品からであれば『エドウィン・マルハウス』、『十二月の十日』あたりから読み始めるのも良いでしょう。(どちらも図書館に所蔵あります)



ぜひ、読んで
みて下さい!

「すしねずみ」

編著:はらぺこめがね

出版社:ポプラ社 (2023年3月)

場所:J7～10他 請求記号:Eハラ

おすしが大好きな「すしねずみ」達。すしネタを盗もうと、こっそりおすし屋さんに忍び込みますが、そこで待っていたのは、まさかのタコにイカ!? すしネタを盗もうと頑張るも、トラブルに見舞われる、残念すぎる「すしねずみ」達。果たして大好きなおすしを手に入れることができるでしょうか。

はらぺこめがねさんが描く食べものはどれもおいしいそうなものばかり。見返しのメニュー一覧も必見です。

図書館俳句ポスト受賞者

2月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。
おめでとうございます。お題は「冴返る(さえかえる)」。

入選
囀や黙りし鳥も数多なる

安福巖

春泥の靴跡にまた靴重ね

松浦学

冴返るボーイソプラノ聖堂に

夢かたり

佳作
手土産のマカロン十個春の色

小野寺礼子

貸出 ランキング 児童編

今回は
児童編だよ！

貸出回数の多かった本をご紹介します。
(令和7年2月1日～5月15日現在)



- 1 『大ピンチずかん 2』
鈴木 のりたけ／著
- 2 『おばけずし』
荻田 澄子／著
- 3 『ノラネコぐんだんピザをやく』
工藤 ナリコ／著
- 4 『パンどろぼうとりんごかめん』
柴田 ケイコ／著
- 5 『パンどろぼうとほっかほっカー』
柴田 ケイコ／著

館長随想 (三十九)

道南の俳句 ― 2 箱館戦争

土方歳三、中島三郎助、大島圭介も俳句をたしなみました。旧幕府脱走軍が明治新政府軍との決戦前に咬菜園(船見町に跡地があります)にてそれぞれに句を詠み、その中大塩無外がいました。当時、松窓乙二と並び道南俳句の雌雄が大塩無外です。

大塩無外は江差の俳友 豪商 関川平四郎と近しく平八郎の乱を逃れた大塩平八郎の長女(他説もある)を媒酌してもらい、このときから大塩を名乗りました。蓼窓庵(旧関川家別邸)は今も現存し、地元のお茶会に利用されています。

函館では毎年5月に五稜郭祭があり、今年もパフォーマンスを楽しみに五稜郭公園に足を運んだ方も多いことでしょう。野外劇も見逃せません。

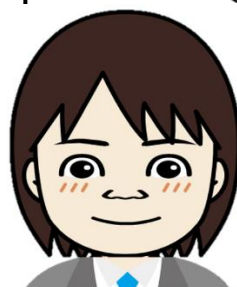
戦いに敗れた中島三郎助を弔い詠んだ無外の句があります。

武士の魂か一声ほととぎす 無外

ホトトギスは帰るにしかず(不如帰)と書いて帰るのが一番という意味でも読まれます。傷ついても鳴き続ける忍耐強い鳥ともいわれ、武田信玄の漢詩にも出てきます。三郎助の俳号「木鶏(もつけい)」は「動じない闘鶏」。無念さが伝わります。

今月は年に1度の碧血碑前祭が行われます。碧血碑は函館山にあり、函館八幡宮横の登山道を少し上ると広場があつて東屋が奥にあり、階段を登りきったところにあります。建立150年の節目を迎え、私も墓碑に手を合わせに参ります。

5月号に一部誤植がありました。松前藩主 松前慶廣が京都に上ったのは1591年です。お詫びして訂正いたします。





ようこそ千歳図書室へ！



函館市内にある地区図書室の中では多くの所蔵数を持つ図書室

(一般図書約 2.5 万冊・児童図書約 1 万冊) であり、

2003 年 4 月の開館から 23 年目を迎えました。

北海道新聞・函館新聞・日本経済新聞の 3 紙の閲覧が可能な他、

『&Premium』『MONOQLO』など 15 誌の雑誌があります。

読書席として窓側 8 席・テラス側 14 席・児童コーナー 13 席を完備。

閉館時間の 17 時までゆっくりと読書を楽しむことができます。



図書室内にはおはなし室もあり、毎月第 2・4 土曜日にはボランティアさんによるおはなし会を実施中です。

おはなし室はイベント以外でも自由に出入りができ、ご家族やお友達と一緒に本を読むことができます。



・開館時間 10:00～17:00

・休館日 毎週月曜

祝日(文化の日は特別開
第三金曜日(9月・3月を除く)
特別整理期間・年末年始

千歳図書室に！

移動図書館ともしび号 がやってくる！

日時：6 月 29 日(日) 10:00～14:00

場所：千歳図書室 駐車場

図書館の利用者カードで貸出ができます。(計 10 冊まで)

返却は中央図書館や地区図書室・配本所のどちらでも出来ます。



ともしび号は中央図書館を拠点として、
マイクロバスに約 1,500 冊の本を乗せ、
公共施設や小学校など市内 27 カ所を巡回しています！



ぜひ最寄りのステーションでもご利用ください！

※運行表は各図書館で配布していますので、
停車場所や運行日はそちらでご確認ください。図書館 HP から確認できます。

